

海外安全対策情報（平成29年7月～9月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2017年1月1日から6月30日（2017年10月19日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は43,893件で、前年同時期と比較し7.5%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗16,258件（前年比11.6%減）

（うち住宅対象侵入窃盗）4,798件（同5.1%減）

イ 公然窃盗756件（同20.5%減）

ウ 恐喝83件（同33.9%増）

エ 詐欺2,162件（同15.5%減）

オ 暴力犯罪1,871件（同0.7%減）

カ 殺人及び殺人未遂166件（同22.1%減）

キ 重傷傷害368件（同6.6%減）

ク 強盗90件（同33.3%減）

ケ 強姦及び強姦未遂108件（同77.0%増）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2017年7月～9月における主な被害事案は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 7月25日、ソフィア・カヴァレフスカヤ通り沿いにあるアパートの住民から、モスコフスキー地区の内務総局に対し、2階に住む男性（ミンスク市内の大学で学ぶ中国人学生）が、部屋の窓から台所用品を投げ捨てているとの情報が入った。コップのうちの1つが停車してあった車に当たり、車の窓ガラスが割れた。その男性は警察に拘束されたが、自分の行動について「頭の中で騒音が鳴っていた」と語ったという。

イ 7月26日、ナイフを持った男が通行人2名に襲いかかるとの事件があった。加害者の男は特別任務警察により拘束され、負傷者は救護隊に保護された。

加害者の男は現在も拘留されている。

ウ 8月17日、客を乗せたタクシーが路線バスに激突した。タクシー運転手は酒を飲んでおり、その事故により2人の若い男女が死亡した。

エ 9月6日、グロドノ市で夜遅くに乗客を乗せて走っていたバスの窓ガラスが割られた。乗客からけが人は出なかった。

翌日の夜、21歳のタクシー運転手が自ら警察に出頭し、バスをエアガンで射撃したと自供した。

男は最近買ったばかりのエアガンを持っており、側を通りかかったバスを見たとき、外に出てバスの窓を射撃したという。男は警察に拘束された。

3 テロ・爆弾事件の発生状況
なし。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況
なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題
なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。